

「画家 田辺三重松 氏の作品を鑑賞し、
みんなで作品のよさや美しさを味わおう」

| | |
|-----|-----------------------|
| 生徒 | 中学校（第2学年） |
| 指導者 | 鹿部町立鹿部中学校 教諭 藤本 大介 |

1 題材の目標

- 作品を鑑賞する際の造形的な5つの観点（色・形・線・光・風景）を基に、造形用語を用いながら作品の表現やそこから受ける感じ方を、具体的に言語化して他者に伝える。
- アクティブラーニングによる話し合い活動（ジグソー学習法）を通して、作品の見方や感じ方をより深く追求していく。
- アート・カードを用いて、画家の多種多様な表現を、広い視野で鑑賞する。

2 題材について

本題材では、道南を代表する函館ゆかりの作家、田辺三重松氏の作品を中心に鑑賞活動を進める。

田辺氏が表現した雄大な自然の表現と大胆な色彩構成などの良さや美しさを味わうとともに、教師が設定した5つの造形要素によるテーマ（色・形・線・光・風景）を基に、作品の表現を造形的な観点から読み解くことがねらいである。比較対象の後期印象派（主にフォーヴィズム）の作品群との比較検証を行い、より深く作品の表現に迫っていくことをねらいとしている。鑑賞ツールとして、アート・カード（ハガキサイズ）を用い、グループ（4～5人）での話し合い活動を中心に授業を展開する。

表面的な感想の交流ではなく、作品の表現の深部に迫るような話し合い活動を進めていくために、ジグソー学習法を導入する。

- (1) 個人鑑賞：5つのテーマに関して、具体的な作品を取り上げたりフォービズム作品と比較したりしながら、田辺氏の作品の表現を感じ、読み取る。
- (2) グループ討議①：前半を5つのテーマ（「色」は2班）ごとに分かれ、グループ討議を行う。
- (3) グループ討議②：各テーマの代表者が集まり、それぞれの観点から討議を行う。

3 題材の評価規準

| 美術への関心・意欲・態度 | 発想や構想の能力 | 創造的な技能 | 鑑賞の能力 |
|--|----------|--------|---|
| 本題材で取り上げる田辺三重松氏の作品を通して、美しさや良さを味わい、作者が伝えようとした技法や表現に関心をもち、主体的に自らの見方を互いに伝え合おうとしている。 | | | 探求心をもって作品（アートカード）を鑑賞し、造形の5つの観点を土台に、根拠をもって仲間と互いの思いを交流し、自分なりの価値を作り出そうとしている。 |

4 指導計画（2時間扱い 本時：2/2）

| 時間 | 学習内容 |
|----|--|
| 1 | ①田辺三重松氏のアートカード作品を鑑賞し、5つのテーマを基に、自分なりに根拠をもって作品表現を感じ、読み取る。 ②意見交流 ③ワークシートに、自分の考えをまとめる。 |
| 2 | ①田辺三重松氏の作品を鑑賞し、作品から受ける自らの思いや考えを踏まえ、5つのテーマを根拠として、グループ活動の中で、話し合い活動を進める。 ②ワークシートに、自分や他者の考えをまとめ 田辺氏の作品表現とは何か考える。 |

5 本時の目標

田辺三重松氏の作品を鑑賞し、表現の良さや技法、意図を感じるとともに、他者の思いや考えを理解し合う。【鑑賞】

6 本時の展開案

| | 学習内容 | 教師のかかわり | ◆ 指導上の留意点 ◇ 評価規準（方法） |
|-----|--|---|--|
| 導入 | <p>Action1 課題の把握・見通す ○課題を把握する（一斉）</p> | | |
| | <p>田辺三重松氏の作品を味わい、自分と仲間との思いや考えをまとめ、 「うきうきペディア」を完成させよう！</p> | | |
| 展開 | <p>Action2 自力解決 ○前時のワークシートのまとめを各自で確認する（3分）</p> <p style="text-align: center;">協働解決</p> <p>グループ活動1（テーマ別推理） ○各テーマ〔色、形、線、光、風景〕に基づいて、根拠をもとに田辺氏の作品を選択する。</p> <p>グループ活動2（代表者推理） ○各テーマの班の代表者ごと集まり、各自の視点で考えを交流し合い、絵についての理解を話し合い深め合う。</p> | <p>○ワークシートへの記入と、話合いの活動がそれぞれ明確になるように時間配分など配慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各テーマにそって、具体的に自分の見取りや考えを交流し合えるように促す。 代表での話し合いでは、それぞれの立場からの意見を明確に発表し、最終的には総合的な視点で絵の鑑賞を深めさせるようにする。 | <p>◇絵に関して、テーマに沿った具体的な視点で自分の意見を述べるができる。</p> |
| まとめ | <p>Action3 自己評価 ○意見交流による他者評価 ○記述による自己の振り返り</p> | <p>○完成した作品の展示期間を伝え、日常の空間が常に自身の感性を高める鑑賞であることを示唆する。</p> | <p>◇互いの意見を尊重し 受け入れた中で、作品の総合的な見取りができる。</p> |
| | <p><まとめのポイント></p> <p>①各グループから、田辺三重松氏の造形表現について発表し、考えを深め合う。 〔色、形、線、光、風景〕の根拠をもとに、発表を行う。</p> <p>②田辺氏の表現の良さや美しさについて、自分の考えをワークシートにまとめる。</p> | | |

ポイント！

- 表現の土台（色、形、線、光、風景）を話し合いのテーマとして、造形用語を踏まえた話し合い活動を推進する。
- アート・カードを入り口として、最終的に、本物の作品に触れること、つまり生徒と美術館を結びつけることを主眼に置く。

